会員卓話　　洋の東西から拾う「比較奉仕学」　　上薗真歩会員

ロータリークラブは、一つの基本となる理念「奉仕の理想」をもっている。それは他人に対する思いやりの心、助け合いの心である。そこで今回は、世界の三大宗教から「奉仕」についての風習や格言を私の独断でピックアップして、共通点を探ってみたい。

1．イスラム諸国：「喜捨」・「救貧」…ザカート（イスラム教）

中近東諸国は、ラマダン（断食）やコーランなど、日本人から見ると不思議な習慣がある。ザカートは、慈善ではなく、１つの宗教的義務として、金銭的に余裕のある者が、貧困にあえぐ者に納める一種の宗教税である。年収の 2.5%が目安で、できる範囲で小麦などを修道院に持っていく。徴収されたものは、貧困者、病を患う者、精神を病む者、自活できない人々に与えられる。

2．日本、中国：「托鉢」・「布施」（仏教）

このイスラムのザカートと同じ喜捨、救貧の考えが、多くの日本人が信仰する仏教の世界にもある。それは、托鉢・布施である。社会の人々が出家者に対して、救道・成道の元手となる礼食（着物や食べ物）を善括する、つまりサービスする。同時に出家者は社会の人々に対して、出家の法（離教・清浄行の徳）を提供する。

(1) 不請の友（無量寿経）、(2)一粒万倍（報恩経）、(3)陰徳あれば陽報あり（淮南子、人間訓）、(4)情けは人の為ならず（譜曲）⇔ 情けが仇、(5)宝の持ち腐れ（歌舞伎）⇔ 無い袖は振れぬ、(6)財宝は地獄の家笹（浄瑠璃）、(7)富貴にして善をなし易く、貧賤にして功をなし難し（曾我物語）、(8)貧女の一灯、長者の万灯（源平盛衰記）、(9)利施す者は福報い、怨み往く者は禍来る（中国、説苑）、(10)人を愛し人を利する者は天必ず之に福す（同、墨子）、(11)愛出ずる者は愛返り、福出ずるものは福来たる（同、新書－春秋）、(12)人は慈悲が肝要（仮名草子）、(13)人の果報は我が果報（沖永良部民族誌）

3．西洋：「施し」・「隠れた慈善」（キリスト教）

イスラムのザカート、仏教の托鉢・布施に相当するキリスト教の行いは、いわゆる「施し」。

「施し」とは、特に、貧しい者に対し金銭や親切を施し、救済せずにはいられない慈善。例えば、安息日に教会で寄付や食べ物を集め、貧しい人に分配する。それにより、「見えによる偽善」は否定され、隠れた慈善、本当に心から救おうとする気持ちが肯定される。

(1)強欲者は一生死ぬまでよい事をしない ⇔ 持っていない物は与えられない、(2) よく実った麦の穂は最も低く垂れる、(3)生き生かしめよ ⇔ 他人の事に余計なおせっかいをするな、(4)徳のみが死なない、(5)我々は自分の為だけ生まれたのでない

4．結び

こうして、各宗教から風習などを比較してみると、仏教の国も、イスラムの国も、キリスト教の国も、本質的には同じ考えが根底にあるように思われる。それは、奉仕を行うことによって、自分自身が幸せになるという寛容の精神と幸福の精神というべきものがあり、これは、ロータリアン自身が成長していくというロータリーの哲学にも相通じるものでもある。

出席報告	第 2890 回	第 2888 回訂正
会員数	42(39)名	41(38)名
出席数	23(22)名	27(26)名
出席率	57.50%	69.23%

●今後の予定

7/4(水)	第1回クラブ協議会（方針発表：会長・幹事）
7/11(水)	第2回クラブ協議会（方針発表：理事・役員）
7/18(水)	祝日休会

市内ロータリークラブのプログラム　　**★印は記帳メークアップ受付があります。**

ＲＣ	例会日	プ　ロ　グ　ラ　ム	例会場	ＲＣ	例会日	プログラム	例会場
東	6/28(木)	夜間例会	サンデイズイン鹿児島	東南	7/3(火)	新年度会長幹事挨拶	サンロイヤル
北		外部卓話　いっしょき学校を作いもんそ会丸野様	ﾚﾝﾌﾞﾗﾝﾄ鹿児島	城西		新年度会長幹事挨拶	東急 REI ホテル
サザン		★夜間例会	東急 REI ホテル	西	7/4(水)	クラブ協議会	山　形　屋
鹿児島	6/29(金)	最終例会	山　形　屋	西南		新年度会長幹事挨拶	ゆ う づ き
中央	7/2(月)	★夜間例会	山　形　屋				